

令和4年10月開講プロフェッサー講座 カリキュラム

講座
No.6

異文化コミュニケーションの理論と実践
～自分探しの旅のパスポート～

岡田 昭人
東京外国語大学教授

- 会場・曜日 : 地域振興プラザ (4 F 大会議室) 第4土曜日
- 講座時間 : 90分/回 13:30~15:00
※第1回目は13:20から開講式、第6回目は15:00から閉講式があります。
- 単位数 : 1単位
- 定員 : 25名

本講座は「異文化適応力」、すなわち文化的差異を肯定的に捉え、言語・生活習慣の違った相手に合わせるコミュニケーションや姿勢を身につけるスキルについて解説します。「異文化コミュニケーション」の理論・事例を踏まえその応用として異文化適応のための様々なスキルについて詳しく解説していきます。

日程		講座内容
第1回	10/22 (土) 13:30~15:00 ※13:20~開講式	「異文化コミュニケーションとは何か」 多角的な切り口で異文化を捉えて理解するためにコミュニケーションの指標や概念を学び、自文化と異なる文化との「比較の物差し」について解説します。
第2回	11/26 (土) 13:30~15:00 15:00~16:30	「カルチャーショック・ステレオタイプと異文化適応」 日本人が異文化の人々と交流をするとき、なぜ誤解や摩擦が生じるのか、また、どのようにして対応し、適応するのかについて解説します。
第3回		「ハイコンテクスト・ローコンテクスト文化」 時間・空間・場所などコミュニケーションの背景にある様々な要因を「コンテクスト」(場の「空気」)と言います。同質性が高いものは「ハイコンテクスト」(「空気を読む」)、低いものは「ローコンテクスト」(「空気が読めない」)とされます。本講義ではこの2つのキーワードから、日本と他国のコミュニケーションスタイルの違いについて解説します。
第4回	1/28 (土) 13:30~15:00	「言語コミュニケーション」 異文化コミュニケーションのスキルとして重要な言語面のスキルについて、特に「断り」「依頼」「謝罪」などの事例を紹介しながら学んでいきます。
第5回	2/25 (土) 13:30~15:00	「非言語コミュニケーション」 異文化理解のメカニズムにおいて、非言語によるコミュニケーションスタイルの違いがはっきり現れる状況や問題についてお話しします。
第6回	3/25 (土) 13:30~15:00 ※15:00~開講式	「異文化コミュニケーションの総合的スキル」 本講座で解説した異文化理解の指標や概念を踏まえて、対象国や個々の事象にどう対応したらよいか、といった「異文化適応の方法」を学びます。

岡田 昭人 (おかだ あきと)

東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授。オックスフォード大学教育学博士。東京外国語大学で20年以上にわたり、日本人と留学生に教育学や異文化コミュニケーション学を教えている。約100名の学生が在籍するゼミでは、「学びと遊びは表裏一体」を理念に、比較・国際教育学、異文化理解の知見を最大限に活かした学生主体のアクティブな授業実践で、学生たちの思考力とコミュニケーション力を高め続けている。

留学生教育学会副会長(現理事)、奨学財団選考委員、NPO法人理事長、またグローバル人材育成に関する公的機関の委員を歴任。著書に『世界を変える思考力を養うオックスフォードの教え方』(朝日新聞出版)、共著に『国際教育学の展開と多文化共生』(学文社)などがある。